

The 9th  
**SONGAI KANTEI  
FORUM**

第9回 損害鑑定フォーラム

テーマ

**エコ・サステナブル**

～ゼロエミの狭間で～

2023

**12.2**

SAT.

9:30～16:40  
(開場 9:00)

会場

**御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター 2F 「sola city Hall」**

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6

主催

公益社団法人 日本損害鑑定協会

後援

一般社団法人 日本損害保険協会

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

株式会社 保険毎日新聞社

一般社団法人 外国損害保険協会

公益社団法人 全国消費生活相談員協会

株式会社 新日本保険新聞社

## 会長メッセージ / Message



今年も早くから雪災や地震、台風、豪雨といった自然災害が多発し、皆さん大変忙しい毎日をお過ごしの中、フォーラム実行委員をはじめ多くの方々のご尽力により、第9回「損害鑑定フォーラム」を開催できる運びとなりました。

関係者をはじめ、ご後援、ご協賛いただいた皆さまに、心からの感謝と御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、損害鑑定フォーラムは、一昨年からWEB配信を導入し、昨年は一部会員の会場参加とWEB配信のハイブリット形式としました。今年は感染症法上の分類変更もあり、従来型の会場開催を主体とし、その模様をWEB配信することといたしました。

昨今、持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable Development Goals）が話題とされることも多くなり、環境に優しい未来のために再生可能エネルギーやリサイクル事業にも注目が集まっています。今年の損害鑑定フォーラムは、持続可能な取り組みを見据え「エコ・サステナブル～ゼロエミの狭間で～」をメインテーマにおき、近年事故が多発している「太陽光発電」と、日常の損害鑑定業務で悩みの多い「産業廃棄物処理」の二つの個別テーマを取り上げました。

当協会では、8月にASCアドバンス研修の一つとして「再生可能エネルギー講座」を開催し、主にメガソーラーの概要から個別事故対応についてWEB配信を行いました。「太陽光発電関連事案への対応」では、さらに鑑定実務における対応手法やポイントを、深掘りします。

「産業廃棄物処理に関する討究」では、産業廃棄物処理の実務における諸問題等について、廃棄物の排出を最小限に抑えるという側面から、太陽光パネルを含めた産業廃棄物のリサイクル、リユースなども併せて検証を進めます。

本フォーラムは、損害鑑定の健全な発展を目的とし、損害鑑定に関する専門知識や研究結果等の情報共有を行う場として各種課題の整理を行っているものであり、今後も皆さまのご協力を仰ぎながら、より充実した内容とすべく進化を図りたいと考えております。

引き続きご理解とご支援とご協力を、よろしくごお願い申し上げます。

公益社団法人 日本損害鑑定協会

会長 太田 英俊

9:30-9:40 オープニング  
 開会挨拶

公益社団法人 日本損害鑑定協会 会 長 太田 英俊

9:40-12:30 I. 太陽光発電関連事案への対応

FIT 開始から 10 年以上が経過し、発電設備の多くが稼働実績を重ねていく一方、保険請求は増加傾向にある。実務において直面している課題について、われわれはどう考え、判断するべきか考察する。

【協力いただいた方】

合同会社 オフィス協働 代表社員 山吉 武

【ワーキンググループ】

(リーダー)株式会社 トラストクレームサービス	丹羽 周一
株式会社 名 鑑	今井 誠
内山鑑定株式会社	上川 賞
株式会社 高本損害鑑定事務所	具島 信介
有限会社 遠州損保鑑定事務所	和出 崇

12:30-13:30 休 憩 協賛企業紹介・会員事務所紹介

13:30-16:30 II. 産業廃棄物処理に関する討究

昨年の「物価動向」に引き続き、本年は「産業廃棄物」に注目する。業界背景、高騰する処理単価、法改正の流れなど、実務における諸問題に加え、産業廃棄物業界にもアプローチする。

【協力いただいた方】

一般社団法人 企業環境リスク解決機構 理事 兼 事務局長	子安 伸幸
株式会社 浜田 営 業 部 新規事業課係長	堀 智広
株式会社 新菱 サークルエコーニ事業部 企画管理本部長	守谷 大輔

【ワーキンググループ】

(リーダー)株式会社 三和鑑定事務所	佐々木 孝浩
株式会社 高本損害鑑定事務所	青山 翔太
株式会社 アスカ総合鑑定	大沼 義邦
西日本鑑定株式会社	久禮田 健太郎
有限会社 むさし野損害鑑定	丸山 敦

16:30-16:40 閉会挨拶

公益社団法人 日本損害鑑定協会 理 事 田中 公成

# I. 太陽光発電関連事案への対応

2012年7月の再生可能エネルギー固定価格買取制度（「FIT制度」）の導入により、全国に普及促進が図られてから既に10年以上が経過しました。

その中において近年増加傾向にある太陽光発電設備に関する多様な事故。我われ損害鑑定人は日々これらに関する保険金請求事案に対応するなかで、少なからず抱く迷いや疑問をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

今回、それらを解消すべき知識やヒントを見出すため、ワーキングメンバーによるパネルディスカッションを中心に進めてまいります。

前半は太陽光発電設備の設置や運用・管理にまで幅広い知識をもった専門家を迎え、我われが感じている問題意識を共有するとともに、現場で感じるさまざまな疑問を率直に問いかけ、回答をいただき、技術的側面から解消していきたいと思えます。

後半は、ワーキングメンバーのみならず、会場やWEB視聴をされている参加者からの質問もいくつか採り上げ、ディスカッションすることにより、さらに理解を深めていきたいと思えます。

また加えて、これらの事故や被害を「未然に防ぐことはできないのか?」「再発を防ぐための対策は?」など、将来に向けて新たな側面からのアプローチも必要と考え、損害鑑定人としての進むべき方向性を皆さんとともに考えて行きたいと思えます。

株式会社 トラストクレームサービス

リーダー 丹羽 周一



携帯電話、スマートフォンからQRコードを読み取り、表示されたアンケート画面にて、ご回答ください。  
パソコンでお答えいただく方、またはQRコード読取機能がない方は、「<https://bit.ly/3FqLR9k>」よりご回答をお願いします。

## Ⅱ. 産業廃棄物処理に関する討究

従来、損害保険において費用保険金の取扱いであった残存物取片付け費用は、近年の保険商品では内枠払いや限度枠が拡大された事などで、その費用が争点となる場面も多くなってきているのではないのでしょうか。また、ご存知のとおり、関係法令も一層厳格化される動きがあり、損害鑑定人として、今一度、産業廃棄物処理に関する理解を深めておく必要があると感じます。そこで、本年は「産業廃棄物処理に関する討究」をテーマに据え、“産業廃棄物処理の今と今後”を損害鑑定人の立場から掘り下げ、考察していきたいと思えます。

まず冒頭に、一般社団法人企業環境リスク解決機構様をお招きし、「産業廃棄物業界の実情、現行制度における産業廃棄物処理の流れや実態、石綿(アスベスト)の関係法令等の基本情報」を、ご講演いただくとともに、ワーキングメンバーを交えたパネルディスカッションにご参加いただきます。

その後、広く産業廃棄物処理事業を展開されている株式会社浜田様にもご協力をいただき、実際の事故事例を基にしたケーススタディにより、日々の業務におけるポイントを議論し一層理解を深めていこうと思えます。

最後は、ゼロエミッション社会を目指し、サーキュラーエコノミー型(循環型経済)事業において、先進的な展開をされている株式会社新菱様をお招きし、現状と同社の取組みについて、ご講演いただきます。

産業廃棄物処理に関する現状と将来の観点からアプローチし、今後の鑑定業務に役立てていただければ幸いです。

株式会社 三和鑑定事務所  
リーダー 佐々木 孝浩



今後の参考とさせていただきますので、是非、ご協力ください。



フォーラムアンケート  
QRコード

## ■ 株式会社 CUBIC

株式会社 CUBICは、高所撮影・俯瞰撮影ができる高所撮影点検システムを、開発・販売しております。高所撮影点検システムは、自由に持ち運びながら、地上に設置して11.5mの高さまで撮影できるシステムです。三階住宅をより詳細に撮影することができます。Wi-Fiデジタルカメラを使用し、簡単な操作で、高精細な撮影ができます。住宅屋根や外壁、樋、太陽光パネル、高速道路、構築物、高所設備などの点検、災害現場や建築現場、遺跡や文化財の撮影・点検などにお使い頂いております。

<http://www.cubictech.jp/>



## ■ 株式会社 総合システムプロダクツ

株式会社 総合システムプロダクツは、ユーザー企業の業務の効率化・活性化における高度戦略システムの構築、運用支援、情報機器の販売、セキュリティ対策、クラウドサービスまでトータルに提供・提案させて頂きます。

また NECのプラットフォームパートナーとして、AIや画像認識の提案も可能です。

- 電子帳簿保存法に対応したソリューションの提案も可能です。
- 鑑定業向け・受注案件管理システム…案件の対応状況・進捗管理、請求書の発行が可能。

DX情報のダウンロードサイトをご用意しております。

管理者様、ぜひご登録をお願いします。

<https://www.kk-ssp.co.jp/>

<https://www.kk-ssp.co.jp/>

### 鑑定業向け 受注案件管理システム

『受注案件管理システム』の特長

- 鑑定人の進捗管理
- 損害保険会社の請求方法に対応
- 自由検索ツールを使用しての実績管理

## ■ 一般財団法人 日本建築総合試験所

日本建築総合試験所(GBRC)は、建築全般に関する試験・研究、評価、審査、認証等を行う公正中立な第三者機関です。このうち、耐震耐久性調査室が行う火害診断業務では、火災にあった各種建物を対象として、日本建築学会「建物の火害診断および補修・補強方法 指針・同解説」に基づく現場調査を実施しています。この調査により、対象建物の構造部材の火害等級および建物の再利用の可否を判定するとともに、補修・補強の要否を判断するための資料をご提供します。さらに、火害診断後には、構造部材の復旧計画の技術監修や復旧工事の現場確認を第三者機関の立場で行うなど、お客様のご要望に応じた業務も提案させていただきます。

<https://www.gbrc.or.jp/>



## ■ 株式会社 フランクリン・ジャパン

フランクリン・ジャパンは落雷データをメインコンテンツとし、雷情報の提供を通じて、社会を雷害から守ることを目的に展開している気象情報会社です(気象庁予報業務許可第33号)。全国を網羅する独自の雷観測ネットワーク(JLDN)を構築しており観測ネットワークで得られた高精度の落雷データをリアルタイムに提供し、屋外レジャー施設や工場等で人命や設備を守るための防災情報として活用されています。

全国を網羅したデータはおおよそ20年にわたり蓄積しており、保険会社様や調査会社様に対しては落雷が所定の場所/日時にあったか否かの事実確認用データとして広くご利用いただいております。

また、落雷データのご発注からお支払いまでを Webでの一括管理とし、省力化、迅速化を実現させたサービス「落雷データ出力システム -LiDaS-」は150超の事業所様にて利用実績がございます。サービス導入についてご関心がございましたら是非お問い合わせください。

<https://www.franklinjapan.jp/>

雷に関する幅広い  
知識・対策・情報をお届け!

- 👁️ 雷の知識  
気象予報から安全対策まで
- 🗣️ 雷トピックス  
雷にまつわる様々な話題を提供
- 📊 落雷状況  
過去〜現在までの雷の発生状況
- 📄 雷統計データ  
日本全国自治体の発生頻度など

LIGHTNING LIBRARY



雷ぶらり

## ■ 株式会社 マスタックエフ

株式会社マスタックエフは、屋根・外装工事のエキスパートです。

屋根工事業では『技術の向上』、『新たな製品』、『施工の技術開発』を通じて、お客様の大切な財産を屋根から守り、快適な日常を提案しております。

損害保険調査事業では、近年の自然災害の激甚化、頻発化により増加する屋根・外壁の損害に対し、屋根・外壁工事の専門業者としての技術と経験を活かし、プロとしての見地より損害の確認・調査を行っております。

また近年問題視されている火災保険金をめぐる不正請求や、調査時に見られる様々な事象に対し、風洞実験や引抜き実験、曝露実験などの社内実験を通じて検証を行い、質の高い鑑定支援の提供を実施しております。

<https://mastaxf.jp/company>



## ■ メインマーク 株式会社

「傾いた床や建物を水平に戻すこと」「今ある床や建物を傾かせないこと」を主な事業内容とするメインマークは、業務を止めることなく傾いた床を水平に戻す「テラテック工法」をメインに、お客様のお悩みに合わせた様々な工事をご提案から調査、施工まで提供しています。

### ■ 事業内容 ■

土間床の沈下修正、空洞充填、建物下の地盤改良・強化、建物の傾き修正、構造物の振動解析、液状化対策工事など

### ■ 特 長 ■

メインマークには、一級建築士を始め、建築、土木、地盤、液状化、構造振動の専門家が在籍しております。建物や地盤の状況、お客様の抱えるお悩みにより、幅広い工法とサービスから最適な提案を行います。

<https://mainmark.co.jp/>

「水平にする」  
「傾かせない」  
**mainmark**  
業務を保ちながら建物の傾き・地盤のお悩みを解決

## ■ ベルフォアアジアグループ ベルフォアジャパン 株式会社 リカバリープロ 株式会社

ベルフォアは、事故災害早期復旧サービスの提供を専門とする世界最大級の企業グループです。経験豊富な専門スタッフが現場に駆け付け、お客様の早期復旧を24時間365日対応でお手伝いします。

ベルフォアアジアは、シンガポールに本社を置き、日本、韓国、台湾、タイ、ベトナム、フィリピン、マレーシア、インドネシア、インドに拠点があります。日本では、ベルフォアジャパンとリカバリープロが、それぞれ異なる保険会社を分担しております。

<https://www.belfor.com/ja/jp>  
<https://recoverypro.jp/>

下記より、各社の情報サービスプラットフォームへの登録が可能です。



ベルフォアジャパン



リカバリープロ



## 会員一覧(本社所在地) / Member

**九州・沖縄地区**  
 有限会社 赤坂鑑定事務所  
 株式会社 インステック・アール  
 有限会社 沖縄損保鑑定  
 株式会社 三立鑑定  
 株式会社 相 鑑  
 株式会社 高本損害鑑定事務所  
 株式会社 福岡損保鑑定  
 株式会社 ホーネット鑑定

**中国・四国地区**  
 インフィニティ 株式会社  
 黒崎鑑定社  
 西日本鑑定 株式会社

**関西地区**  
 あおぞら総合鑑定 有限会社  
 あずま鑑定  
 大野鑑定事務所  
 株式会社 かがやき鑑定  
 有限会社 神戸天神鑑定  
 有限会社 酒井鑑定事務所  
 有限会社 さくら鑑定事務所  
 株式会社 三和鑑定事務所  
 有限会社 須磨鑑定事務所  
 有限会社 高本鑑定事務所  
 有限会社 天神鑑定関西  
 株式会社 トラストクレームサービス  
 阪和鑑定 合同会社  
 湊損害鑑定 有限会社  
 株式会社 若葉総合鑑定

**中部地区**  
 有限会社 葵鑑定事務所  
 株式会社 アスカ総合鑑定  
 有限会社 遠州損保鑑定事務所  
 株式会社 S & S 損保鑑定  
 有限会社 グローバル鑑定事務所  
 有限会社 静岡損保鑑定  
 有限会社 高岡鑑定事務所  
 有限会社 中日鑑定事務所  
 株式会社 中部総合鑑定  
 有限会社 つばさリスクアジャスティング  
 有限会社 北陸損保鑑定  
 株式会社 丸の内鑑定事務所  
 みずほ鑑定 株式会社  
 株式会社 名 鑑  
 有限会社 大和鑑定

**関東地区**  
 合同会社 iCube  
 株式会社 あずさ損保鑑定事務所  
 株式会社 甘糟鑑定事務所  
 いろどり鑑定 株式会社  
 内山鑑定 株式会社  
 有限会社 共和鑑定  
 株式会社 芝浦鑑定  
 株式会社 湘南鑑定  
 株式会社 中央損保鑑定  
 株式会社 東 鑑  
 東京損保鑑定 株式会社  
 株式会社 永松鑑定事務所  
 株式会社 みなと鑑定事務所  
 有限会社 むさし野損害鑑定  
 株式会社 山貴総合鑑定  
 株式会社 横浜鑑定事務所  
 株式会社 ライフ鑑定調査事務所

**北海道・東北地区**  
 株式会社 札幌鑑定  
 株式会社 デーエム  
 有限会社 道央損保鑑定  
 株式会社 北海道鑑定  
 杜の都鑑定 株式会社  
 渡部鑑定事務所

※エリア別・五十音順

## 役員一覧 / Officer

会 長	太田 英俊 (株式会社 中央損保鑑定)
副 会 長	内山 真 (内山鑑定 株式会社) 加藤 友好 (株式会社 名鑑) 藤原 昌明 (株式会社 三和鑑定事務所)
専 務 理 事	永島 孝司 (公益社団法人 日本損害鑑定協会) 伊藤 優 (株式会社 アスカ総合鑑定) 岩泉 和則 (株式会社 東鑑) 高本 吉孝 (株式会社 高本損害鑑定事務所) 田中 公成 (株式会社 甘糟鑑定事務所)
理 事	藤得 牧 (東京損保鑑定 株式会社) 野田 昇一 (株式会社 かがやき鑑定) 野間 隆則 (西日本鑑定 株式会社) 森下 泉 (株式会社 札幌鑑定)
監 事	奥田 邦彦 (株式会社 トラストクレームサービス) 森園 哲之 (株式会社 福岡損保鑑定)

※五十音順

## フォーラム実行委員会メンバー / Member

委員長	公益社団法人 日本損害鑑定協会	理事	田 中 公 成
委員	公益社団法人 日本損害鑑定協会	理事	藤 得 牧
委員	株式会社 高本損害鑑定事務所		三 浦 和 也
委員	株式会社 福岡損保鑑定		永 井 俊 文

## 会場アクセス / Access



- 電車をご利用の場合  
 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」 B2出口より徒歩約1分  
 東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」 出口1より徒歩約4分  
 JR中央・総武線「御茶ノ水駅」 聖橋口より徒歩約1分

主催 **公益社団法人 日本損害鑑定協会** 損害鑑定フォーラム事務局  
 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 TEL 03-3254-6454(代)  
<https://www.laaj.or.jp/>